

トレンド Express、第2創業期として 「株式会社 NOVARCA」に社名変更

～NOVA(新しい、新星)と ARCA(方舟、架け橋、輪)を融合した新社名「NOVARCA」を冠し、
世界的プラットフォーム事業を通じて国境の先に新常識を創り出す～

中国を中心とした越境ビジネスプラットフォームを展開する株式会社トレンド Express（東京都千代田区、代表取締役社長 CEO 瀨野智成）は、12月1日（木）より「株式会社 NOVARCA」（読み「ノヴァルカ」）に社名を変更したことをお知らせいたします。

また、このたびの機会を「第2の創業期」として、より積極果敢なグローバルチャレンジを全社員一丸となって取り組んでいくことを明確に掲げるため、当社の存在意義・あるべき姿を表現した「MISSION（ミッション）」を、「国境の先に、新常識を。」に変更いたしました。

さらに、2023年1月4日（水）から、従業員の増員と働きやすい環境の整備を目的として、本社である東京オフィスに移転し、新たな拠点で始動することを決定いたしました。

社名・ロゴについて

新社名 : 株式会社 NOVARCA（読み：「ノヴァルカ」、英文表記：Novarca Inc.）
変更日 : 2022年12月1日（木）
コーポレートサイト URL : <https://www.novarca.jp/>

国境の先に、新常識を。

T R E N D
E X P R E S S は、

NOVARCA

に生まれ変わります

NOVA(新しい・新星)・ARCA(架け橋・輪・方舟)を融合した造語。

新しい領域への架け橋になりたい、世界中をつなぐ輪になりたい、新大陸へ向かう方舟でありたいという創業時から大切にしてきた価値やおもいを新社名NOVARCA(ノヴァルカ)に込めました。

NOVARCA

NOVARCA の MISSION

国境の先に、 新常識を。

世界はもっと、つながれる。

国や領域の枠を超え、ビジネスがもっと自由になれば、

解決できる社会課題はいまよりずっと増えるはず。

私たちは、人と社会の架け橋として、

グローバル市場に挑む企業を成功に導きます。

大胆な思考で、新たな常識を生み出しつづけることが、私たちの使命です。

株式会社 NOVARCA 代表取締役社長 CEO 瀧野智成 メッセージ



私たちは、分断が進む現代において、既存の業界枠組みや事業ドメインにとらわれず、ユニークな視点で社会課題を解決していくこと、真のボーダーレスな社会を創っていくことを使命だと考えています。

常に新しいことにチャレンジし、新常識や新領域を創り出す、そして人と世界をつなぐ架け橋となる事業を推進していくことで、次世代に貢献する価値を生み出していきたいと思えます。

2022年10月には、シリーズCラウンドの資金調達を発表し、越境ビジネスプラットフォーム事業の成長加速に向けて、テクノロジー領域や人材採用・育成に積極的に投資をしていくことを宣言いたしました。現在すでに、これまでの当社ビジネスの主戦場であった中国メインランドにとどまらず、グレーターチャイナ、華僑圏と、これまでに培ってきた知見を生かしながら、よりグローバルな領域に漕ぎ出し始めています。

これからも当社は、自己変革も伴いながら、「国境の先に、新常識」を創っていける存在であり続けたい。

そういったおもしろから、新社名「NOVARCA」、そして新たなミッション「国境の先に、新常識を。」を制定しました。

「第2の創業期」として、激動する世界にこれまで以上に果敢にチャレンジしてまいります。

本社所在地の変更について

当社は、2023年1月4日（水）より新たなオフィスに移転いたします。

電話番号など連絡先が変わりますので、詳細が決まり次第、コーポレートサイト等で告知いたします。

新オフィスの住所：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 2-2-1 KANDA SQUARE 11F

株式会社 NOVARCA（旧 株式会社トレンド Express） 会社概要

NOVARCA は、「国境の先に、新常識を。」をミッションに、日本企業の中国を中心とする世界市場での成長を促進するビジネスプラットフォームを提供しております。ソーシャルビッグデータを活用した調査・分析、戦略立案、プロモーション、流通拡大など、中国ビジネスに関わるエコシステムを構築・提供することで、日本企業の中国やグローバル事業の成長を支えます。

NOVARCA コーポレートサイト <https://www.novarca.jp/>

| | |
|------|--|
| 代表者 | 代表取締役社長 CEO 濱野 智成（はまの ともなり） |
| 所在地 | 東京都千代田区富士見一丁目3番11号 富士見デュープレックスビズ 5階 ※2023年1月4日（水）より、以下のオフィスに移転いたします 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 2-2-1 KANDA SQUARE 11F |
| 事業内容 | 中国を中心に世界市場での成長を支えるプラットフォームサービス |
| | ソーシャルコマースを活用した流通販売支援 |
| | データを活用した総合的なマーケティング・プロモーションの立案・実行支援 |

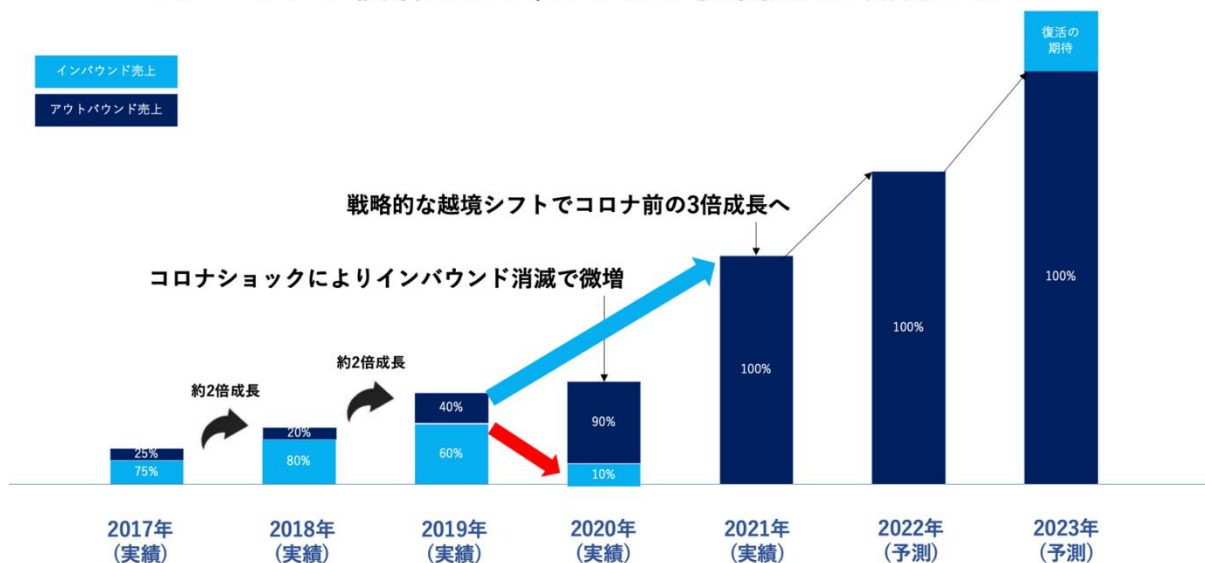
【主な沿革】

- 2022年10月 グロービス・キャピタル・パートナーズ、JIC グロース・ベンチャー・インベストメンツなどからシリーズ C の資金調達を発表
- 2022年1月 「抖音(Douyin)」が手がける越境 EC「抖音電商全球購(Douyin EC Global)」への出店支援を本格開始
- 2021年9月 中国 SNS・EC を定点観測・分析する新サービス「数慧洞見-Data Vision-」発表
- 2021年2月 「抖音(Douyin)」などの配信サービスを提供するプラットフォーム OceanEngineJapan2021 年度「認定代理店制度」にて、日本企業唯一となる最上位格「ダイヤモンド」を受賞
- 2020年11月 インバウンドに代わる日本ブランドと中国消費者の接点作りを支援する「意中盒（イーチョンフー）」発表
- 2020年9月 代表の濱野が「NewsPicks NewSchool」新講座「ニューチャイナ・マーケティング」のプロジェクトリーダー（講師）に就任
- 2019年12月 中国企業の M&A を発表（自社中国 100%子会社と協業先企業を経営統合）
- 2019年10月 日本郵政キャピタルをリード投資家としたシリーズ B の資金調達を実施
- 2018年4月 越境 EC プラットフォーム「越境 EC X(クロス)」を発表
- 2017年11月 DNXVentures をリード投資家としたシリーズ A の資金調達を実施
- 2017年1月 株式会社トレンド Express として、株式会社ホットリンクから分社化
- 2015年11月 株式会社ホットリンク（東証マザーズ 3680）の新規事業として立ち上げ

【NOVARCA（旧 トレンド Express）のこれまでの事業経緯と今後のビジョン】

NOVARCA（旧 トレンド Express）は、2015 年 11 月に設立し、“爆買いブーム”の需要取り込みの波にのり、インバウンド顧客の需要予測ツールの開発、中国消費者に向けた PR サービスの提供、シリーズ B での調達資金を活用して越境 EC プラットフォーム事業を開発し、事業の立ち上げ期から 2019 年まで年平均 200%以上の売上成長を続けてまいりました。2020 年の新型コロナウイルスのパンデミックにより、売上の 60%の構成比だったインバウンド需要売上は消滅。当コロナショック後は、アウトバウンド領域（中国現地法人向け事業、越境 EC）に積極的に舵を切り、クライアント価値の最大化と事業成長に注力。ソーシャルコマース事業など新たな独自サービスや事業の開発を進め、2021 年はコロナ前の売上の約 3 倍の成長を達成し、2022 年以降も成長拡大が予定されています。

越境プラットフォーム事業が急拡大 インバウンド復活により、さらなる事業拡大が期待される



現在は、「国境の先に、新常識を。」をミッションに、グローバルブランド企業の商品開発、生産需要の精緻化、調査・広告、流通販売、CRM などのバリューチェーンを支える越境ビジネスプラットフォームを提供しています。今後は、対象国を中国以外の国に拡大して事業を展開してまいります。

昨今「失われた 30 年」と称されるように、日本経済の長期停滞が続いています。さらに、今後加速する人口縮小によって、内需の低下が進み、経済大国としての国際的な競争力の減退も懸念されています。一方で、世界ではアジアを中心に経済成長がさらに加速していくことが予想されます。日本の優れた商品・サービスを評価し、買い求める生活者の需要を取り込むことは、日本経済活性化に向けた大きなチャンスであり、命題です。

NOVARCA は、日本経済の活性化にむけた外需の取り込みを図るべく、祖業であるデータ解析の技術を軸にした越境ビジネスプラットフォーム事業を通じて、日本企業のグローバルビジネスを支援してまいります。

当社の越境ビジネスプラットフォームにおいては、近年注目を高める SDG s など社会課題解決に資する取り組みにも対応しています。すでに中国市場において、企業の生産活動と生活者の消費行動をデータで精緻に解析し、最適な需給バランスにもとづくサステナブルな事業活動を支援・推進する実績も出ています。

今後も NOVARCA は、国境の先に新常識を生み出し、日本ブランドの世界的成長に貢献してまいります。